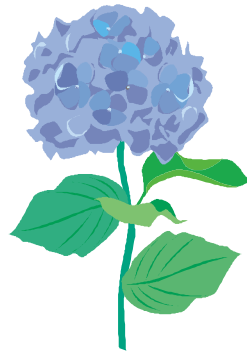


佐事研だより

佐賀県公立小中学校事務研究会
編集発行人 小川 洋起

会員各位



会員の皆様、梅雨空の日々が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。

先月の佐事研第22回大会のアンケートの集計が済みしましたので、その結果を掲載しております。

今年度の佐事研だよりの掲載記事担当は、51号（佐賀市・神埼）52号（武雄市・唐津地区）53号（小城市・杵島）54号（鳥栖基山・伊万里西松浦・藤津鹿島）です。

ご意見・ご希望等がありましたら、調査広報部長又は各地区調査広報部員まで連絡をお願いします。

第22回 大会アンケート集計結果

第22回佐事研大会アンケートにご協力いただきまして有難うございました。副田様の講演、松浦様の行政説明、プレゼンテーションなどについてたくさんの感想やご意見を頂きました。集計結果および一言コメントを以下のように掲載します。

年代	20代		
	講演	行政説明	プレゼン
大変良かった	8	8	7
良かった	5	5	6
普通			
良くなかった			

年代	30代		
	講演	行政説明	プレゼン
大変良かった	10	6	8
良かった	5	8	7
普通		1	
良くなかった			

年代	40代		
	講演	行政説明	プレゼン
大変良かった	8	7	11
良かった	9	7	5
普通		3	1
良くなかった			

年代	50代		
	講演	行政説明	プレゼン
大変良かった	3	5	5
良かった	7	8	5
普通	2		2
良くなかった			

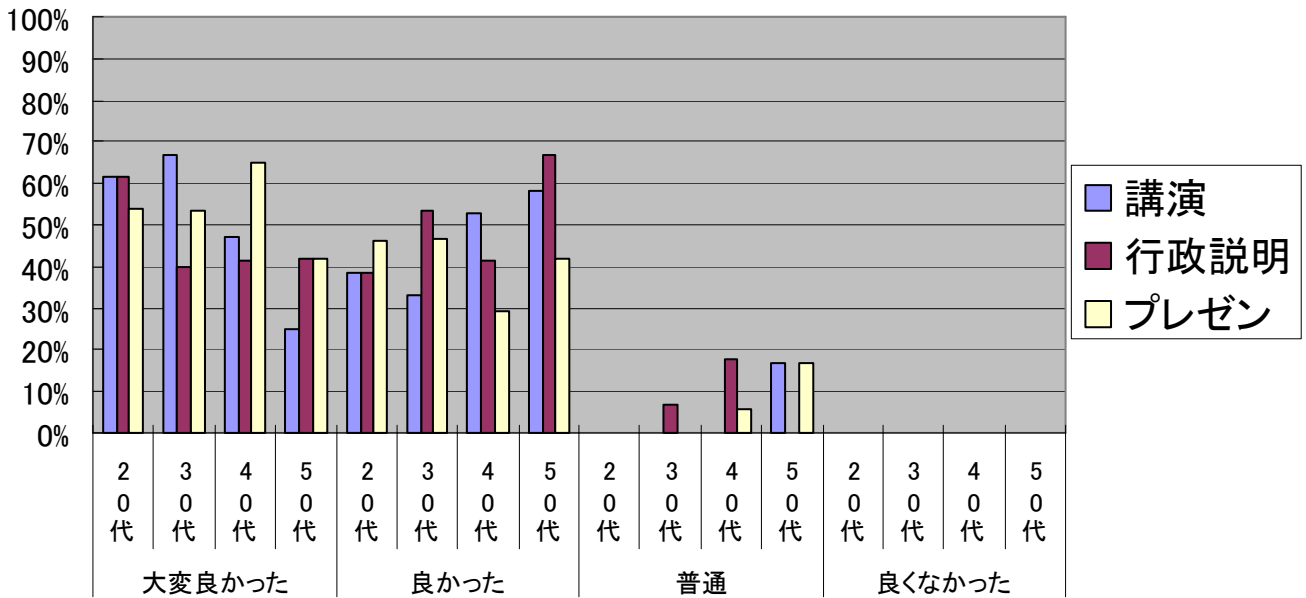
年代	合計		
	講演	行政説明	プレゼン
大変良かった	29	26	31
良かった	26	28	23
普通	2	4	3
良くなかった			

アンケート提出数	58
内数(県内)	57
内数(県外)	1

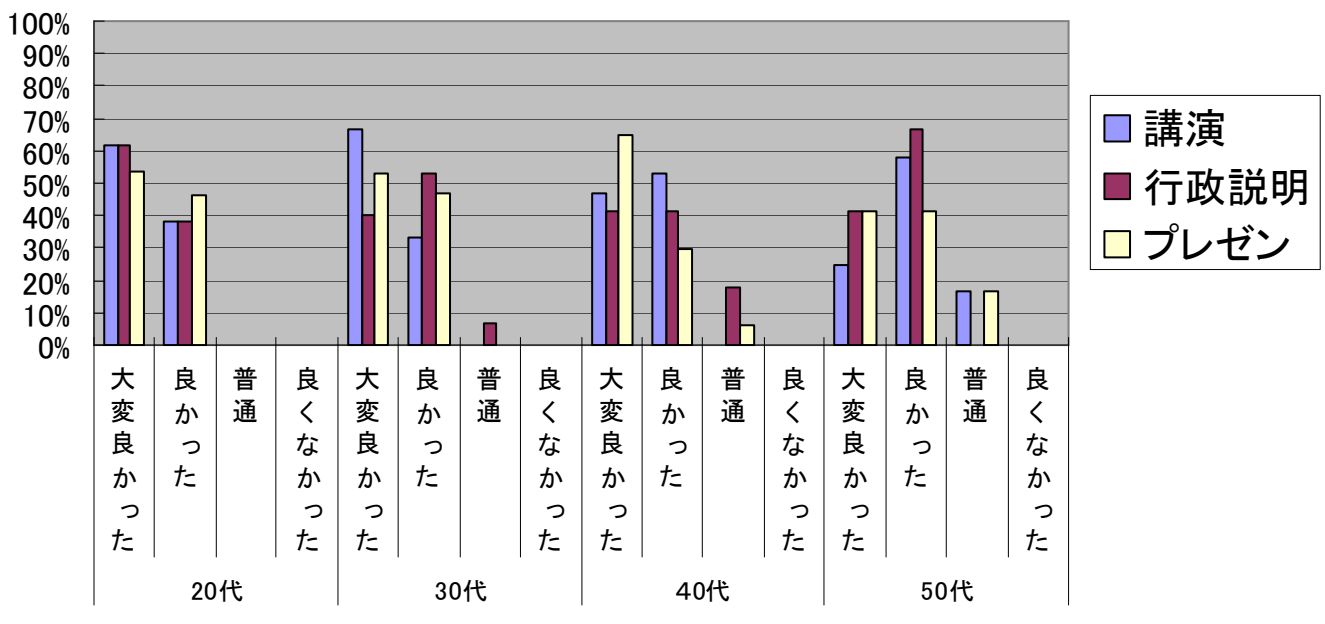
(一部無回答有)

参加者数	212
内数(県内)	57
内数(県外)	1
回収率	27.3%

第22回大会アンケート結果(回答別)



第22回大会アンケート結果(年代別)



以下は一言コメントです。

設問3) 講演「心をつなぐ対話—ことばは心の架け橋」講師 副田ひろみ様

- ・ 「相手の心に共感する」ということは気にはかけているつもりだが、つつい忘れがちになる。今日、改めて大事だと実感した。(20代)
- ・ 以前から存じていた方の講演会でしたので、どのような内容であるのか、楽しみにしていました。お話でありましたように、電話対応での声のトーン(声色)に関しては、常に意識しないといけないと思います。今後の人との付き合い方に、よい勉強となりました。(20代)

- ・ お話を聞きながら、普段の自分の態度を振り返り、反省することができたと思う。(20代)
- ・ 毎日行なっている電話対応だが、この講演で学んだことを明日から生かしていきたい。(20代)
- ・ 研修ということだろうが正直意味あいは薄かったのでは。話自体は中々面白かったのだが・・・。(20代)
- ・ 講師の方の実体験を基にお話されていてとても感動した。言葉も大切だが、表情、心の持ち様で、変わるのだと思った。(20代)
- ・ 話し、伝えるということの大切さを学ぶことができた。日々の接遇で生かしていこうと思いました。(20代)
- ・ この講演を聴かせてもらうことができて、とてもよかったです。(20代)
- ・ どんな仕事をするにあたって、良い人間関係の構築は不可欠なものだと思うので、とても有意義な話だったと思う。(20代)
- ・ 心のツボにピタリとはまるようなお話でした。「心根が表情に出て、表情が声を作る」を常に自分の心に言いきかせて、柔らかな表情を心がけたいと思います。久々に共感・感動しました。(30代)
- ・ 基本的に同意できる、なるべくそうあろうと考えている姿のお話だったので、たいへん身につまされました。まだまだ子供のままでいたい甘さゆえ、自分が嫌な思いをした事は、が一つと発散します。その時は口が悪いです。判っていてもポンと出ていきます。日々反省です。(30代)
- ・ よい本をたくさん読む機会はとても大切だと思いました。「許す」という言葉、「好き」か「嫌い」かを決めるのは相手の決定権にある、etc・・・印象に残りました。(30代)
- ・ 最初は宗教の話になるかと心配したが(笑)、対人関係を築く上で参考になる話がいろいろ聞けて良かった。(30代)
- ・ 「申し訳ございません」「おそれいます」の一言は明日から活用しようと思いました。とても勉強になりました。(30代)
- ・ 日常、仕事をする上で気を付けるべき言葉の選択・発し方についてのお話をされ非常に良かった。(30代)
- ・ 学校の窓口として、人との接し方を再確認した。最後の息子さんとの話しには感動させられた。(40代)
- ・ 単純な接遇研修でなく、心理的・コミュニケーション学的な観点からも大変勉強になりました。(40代)
- ・ 11:40~12:40という時間帯ではなく、もっとゆっくり聞きたかった。(40代)
- ・ 今回で3回拝聴させていただきました。毎回‘そうなんだよね・・・’と実感しながらも実行できているかはわかりませんが、職場でも家庭でも心がけていこうと思いました。(40代)
- ・ 心に響く言葉で、とても感動しました。学校で、家庭で実践していきたいと思いました。(40代)
- ・ 人と接する機会が多いので、ためになった。家庭でも実践したい。(40代)
- ・ 自分にとって一番、にが手な分野です。自分を変える努力をしようと思いました。(50代)
- ・ 明るい対応に心掛けたいと思います。(50代)
- ・ 人前で話す時の、参考になった。(50代)
- ・ ちょっと早口だったかな。(50代)
- ・ 大いに反省させられる講演でした。今後に生かしたいと思います。(50代)

設問4) 文部科学省 行政説明「今後の学校事務のあり方と学校事務職員の役割について」

- ・ 実際に文科省の方の貴重なお話が聞いてよかった。学校経営に積極的に参画できるよう、自分の力もつけなければと思った。(20代)
- ・ 分かりやすい言葉でのお話だったので経験年数の浅い私でも、話についていくことができました。教師の仕事内容に合った給与となっているかという、改善されるべきなのは、と思う部分を把握しており、少し安心しました。(20代)
- ・ 中央でどのような動きがあるのか確認できた。今後の展開に期待したい。(20代)
- ・ 中央行政の考え方を知るという意味で、今後を考えれば一番参考になる内容だった。秋もこれに近い方に来て頂きたい所ですが。(20代)
- ・ 共同実施が人減らしではなく、逆に加配を要求するものだということが文科省担当者から聞いたことが、よかった。(20代)
- ・ 定数や給与に関する、法律の実情を知ることができて、大変ためになりました。(20代)
- ・ 現状にとっても不満なので改革は非常にありがたい。また、与えられるだけでなく、自ら積極的に動かなければならない。(30代)
- ・ とても穏やかな口調で、分かりやすいお話(説明)でした。(30代)

- ・ 知らないしくみが聞けて、おどろきでした。部活に関しては、力をいれてするのにも、限度があると考えます。学校行事より優先すべき事ではないはずです。(30代)
- ・ 教職員定数、予算を押さえられている中、私たちが何をすれば良いのか考えさせられた。東京から佐賀に格別の思い入れで来られてありがたいと思われます。(30代)
- ・ かなり厳しい事も言われたが、ダイレクトに中央の情報が聞けたのは良かった。(30代)
- ・ 話の内容も良かったのですが、松浦講師の、頭の低さにおどろきました。(30代)
- ・ 結局、うまく使われているだけ？教員の給料を下げるために。(30代)
- ・ 現在の国会や文科省の考え方や、方針がわかってよかった。又、目指す事務職員像についても、なげかけがあってよかった。(40代)
- ・ 行政説明は事務職員として大変勉強になりました。共同実施については積極的に行動できそうです。(40代)
- ・ 将来に少々あかりがみえてきたのかもしれないと思った。(40代)
- ・ 事務の共同実施は事務職員の定数減らしでは決して無いという言葉にはたいへん勇気づけられた。(50代)
- ・ 文部科学省の生の声がきけてよかった。(50代)
- ・ 今後の変化について理解できた。不安も多くなった。(50代)
- ・ 今後の我々の行くべき道を指し示して頂いた。(50代)

設問5) プレゼンテーション「学校事務を取り巻く課題の現状と展望」

- ・ 事務職員の歴史から今後の展望まで、今まで学ぶ機会がなかったが、今回わかりやすく説明していただき、大変勉強になった。(20代)
- ・ パワーポイントで分かりやすく、若手職員にも気を配っておられ、良かったです。(20代)
- ・ 新採から間もありませんが、十分参考になりました。松浦先生のお話とリンクしている所も多く、今後の自分の在り方を強く考えさせられました。(20代)
- ・ さすがの話術だった。(20代)
- ・ 学校事務の歴史を知るとともに、どのように制度や体制、考え方が流れているのか等、大変勉強になった。学校経営への参加という大切な役割を実現するために、意識改革が必要だと思いました。(20代)
- ・ 佐賀県の学校事務職員制度の流れがあらためて勉強できました。なかなか人に聞くこともできず、自分で勉強するというのもできずにいたので、本当にいい機会となりました。個人的には、「育休」の話が一番印象に残りました。本当に悔しい思いを、先輩方はされてきたんだなあと胸が痛くなりました。今は恵まれて、あまり組合の必要性を感じない人が多くなったと思いますが、やっぱり交渉権を持つ組合は必要だと正直思いました。(30代)
- ・ 今、調査や何やら提出物が増えた事による通常業務へのシワ寄せに泣いている場合ではないのだな、と思いました。(30代)
- ・ 古川治事務長の説明がわかりやすくて良かったです。S47月刊「大阪人」に関心を持ちまして、大阪文化センターに行ったことがあったので・・・。(30代)
- ・ 唐津地区で一度聞いているので理解がしやすかった。(30代)
- ・ お疲れ様です。(30代)
- ・ 歴史は知らなかったので勉強になりました。分かりやすくて、もっと聞きたかったです。(30代)
- ・ 事務職員の過去があって、努力があって、今があり、そして、我々が努力して未来の事務職員を作っていかなければならない。(40代)
- ・ 古川事務長の活気と意欲に溢れるプレゼンに力づけられます。自分の仕事を交通整理する(今、玉突き事故のよーに仕事がクラッシュしてるので・・・)方法を模索して、自己の向上を目指したいと思います。
- ・ 話の内容が抽象的な部分をより具体的に話されるので、きいていてあきない内容でした。また内容がシビアだけでも笑いを交えたプレゼンテーションだったと思います。この紙面では書きつくせませんが、古川先生の自己研修の深さを感じさせられたプレゼンテーションだったと思います。どうもありがとうございます。それから、研究大会冊子の写真も内容も良かったです(一言ですが)。
- ・ わかりやすく非常によかった。(40代)
- ・ パワーポイントを使っただけの説明でわかりやすかった。(40代)
- ・ わかりやすかった。(40代)
- ・ 楽しく勉強させていただきました。(50代)
- ・ 時間は守らなければならない。(50代)
- ・ 我々の「現在」を明らかにして、これは今後の方向をはっきりと指し示した内容ですばらしかったです。(50代)

設問6) その他全体的な、意見や希望等について

- ・ 佐事研だよりが、PDFに変更になって、予算節減ができたように、大会の冊子自体も、PDFで各自に送信して頂ければよい。(20代)
- ・ 文科省行政説明中に、携帯電話が鳴っている者がいた。講師に対し非常に失礼である。司会は講演直前に再度マナーモードを確認させる等の措置が必要。(30代)
- ・ 非会員に声をかけたのですが多忙やNO回答でした。是非、一回以上、連れてきて講演を聴いてもらえたら良いと思います。(30代)
- ・ 臨採です。個人的には、これからも長期で勤められたらもっともっと意欲的にこういう場の話もきけるのですが、1年きり！というのが残念です。(30代)
- ・ とても内容がよかった。(30代)
- ・ 昼食時間は1時間確保してほしい。総会行事が時間オーバーするので、もっとゆとりをもった日程にしてほしい。(40代)
- ・ 5月の総会・研究大会は、所属学校の運動会の前々日ということもありきびしいです。検討をお願いします。(40代)

佐賀市立小・中学校 学校集金等事務処理方針施行

佐賀市教育委員会は、学校集金に対する基本的考えとして、「保護者が受益者負担の考えに基づき、学校教育の充実・発展のために負担している経費であり、その管理と取扱いは包括的に学校長に託されていることから、学校長は適正且つ効率的な執行を図るとともに、公費に準じた適正な会計処理を行い、保護者に対し十分な説明及び報告を行う必要がある」とし、学校集金等の事務処理適正化・透明化を図り、保護者からの信頼確保と健全な学校運営を実現するため、各学校に共通する主な会計処理等について、『佐賀市立小・中学校 学校集金等事務処理方針』（【1. 目的】【2. 定義】【3. 基本原則】【4. 物品等及び取扱業者の選定】【5. 学校職員の関与】【6. 会計処理の原則】【7. 会計報告の義務】【8. その他】8項目により編成）を策定しました（平成19年4月1日施行）。

さらに佐賀市立小・中学校で統一的な処理を行うために、各処理方法について説明し、様式を示した『学校集金標準マニュアル』（【Ⅰ学校集金等の集金計画・立案】【Ⅱ集金事務】【Ⅲ支払い事務】【Ⅳ会計処理】4項目により編成）を策定しています。

佐賀市立小・中学校においては、『学校集金標準マニュアル』をもとに、各学校の『学校集金取扱マニュアル』を作成し、それに基づき事務処理を行います。

『佐賀市立小・中学校 学校集金等事務処理方針』『学校集金標準マニュアル』ともに、学校集金における事務主任（県費事務職員）、事務担当者（主に学校事務嘱託職員）及び市費事務員の関わりについて明記しており、今後は明確な根拠にもとづき、学校集金等の事務処理に携わることとなりました。

～平成の佐賀市の市町村合併～

平成18年10月に大和町、富士町、三瀬村、諸富町が新佐賀市として誕生しました。平成19年11月は久保田町と川副町と東与賀町も新たに新佐賀市となる予定です。今後の「佐賀市」の活性、振興に期待できるところです。合併は自治体の面積が広くなり県・国へと視野は広がりやすくなりますが、元の自治体との別れを告げる名残惜しさもあります。川副町は合併前に「ふるさと展示会」が行われるようです。合併前の学校事務職員のグループ研修会で「佐賀市」は合併に賛成する声の方が多かったようです。

<市町村合併とは？>

市町村合併とは、合併特例法第2条において『二つ以上の市町村の区域の全部若しくは一部をもって市町村を置き、または市町村の区域の全部若しくは一部を他の市町村に編入することで市町村の数の減少を伴うもの』とされています。

<市町村合併が検討される背景>

- ・ 地方分権の推進(地域の課題を地域で解決する考えと力の必要性)
- ・ 少子高齢化の進展(税金などの収入の減少、医療・保健・福祉等経費の増大)
- ・ 日常生活圏の拡大(広域的な行政サービス等の需要増大)
- ・ 国・地方の財税状況の悪化(さらなる行財政改革の必要性)

このような変化に対応し、質の高い住民サービスを提供していくためには、自治体の規模を大きくし、行財政基盤を強化する必要があり、この手段として市町村合併があります。

<参考文献> HP;佐賀市・川副町・東与賀町・久保田町合併協議会

～観光振興上のメリット～

市域の拡大で隣り合うこととなった福岡市。全国的に珍しい県都隣接。三瀬村、富士町の豊かな自然を軸に巨大都市の住民を呼び込む観光振興に期待が高まる。新市建設計画で観光事業は「新市の経済の大きな柱」と位置づけている。2009年4月の供用開始を目指し作業が進む三瀬トンネル有料道路2期工事。佐賀、福岡両県の経済、文化の「架け橋」として期待がかかる。これまで町村行政では戦略的な観光振興策が、難しかったが、新市となって、スタッフや予算が充実する。情報発信量も格段に増える中で、新たな展開が可能になりそうだ。

～支所職員減、住民に不安～

合併に伴い、町村役場は支所として住民サービスの窓口機能を残す。ただ総務、企画など管理、政策部門は一部を除いて本庁に集約される。富士町役場は90人のうち15人が本庁へ異動、同時に臨時職員約10人も役場を去る。「合併後の実態をみて本庁と支所の業務分担を整理する必要がある」と市人事課。だが町村職員の中には「支所職員がさらに減らされるのは目にみえている」との声も漏れる。合理化で問われてくるのは住民サービスの質。町村の議員数は減るため、各町村単位に設置する地域審議会の役割が重要となってくる。

～佐賀市の人口が合併後に19万人?!～

「2010年に19万9千人、2030年には今の人口と同じ16万7千人に落ち込む可能性がある」一。佐賀市の2005年9月議会一般質問で、執行部は合併後の人口推計を明らかにした。2000年の国勢調査をもとに国立社会保障・人口問題研究所が試算したデータ。質問した市議は「想像以上の減り方。合併で輝く未来ではなく、後年度に負担がのしかかるわけだから、もっと真剣にまちづくりを考える必要がある。」と厳しく受け止めた。脊振山地から有明海へと延びる新佐賀市。再編された県都の面積は約100平方キロメートルから355平方キロメートルへ拡大する。140万人都市の福岡市(340平方キロメートル)を上回る広さで、九州の他の県庁所在地と比べても遜色ない。だが他市は政令都市(福岡市)や30万人以上の「中核市」にあたる。「人口が増えただけで豊かになるわけではない。」市執行部は合併説明会で言い続けてきた。「昔は人口が都市の活力の物差しだったが、今は価値観が変わってきた。」市職員時代、総務・企画畑で「20万都市」推進に関わったこともある高取義治助役はそう語り、あくまで「佐賀市の力をつけるための合併」と強調する。

<参考文献> 佐賀新聞「船出する20万県都」～新佐賀市の課題～2005年9月27日、9月28日版

◇ ◇ CSVって何？ ◇ ◇

皆さん良く御存じの(?) CSV形式とは。現在我々が利用している旅費システムの中にCSV出力というものがあります。これは一つのファイル形式の名称で、正式には、Comma Separated Value Format といいます(別名:カンマ区切りといいます)。これは、エクセルやロータス(最近見かけませんが)などの表計算ソフトの汎用フォーマットでデータ出力、データ入力機能を備えています。非常に汎用性が高く、電子手帳やワープロソフト等でも利用されています。その名のとおり、データをカンマで区切って並べられたファイル形式のためテキストエディターやワープロ等で開いて直接編集も可能です。私は、エクセルで作った住所録を宛名書き用ソフトにCSVで保存して、宛名書き用ソフトに流し込んでいました。また、宛名書き用ソフトの住所録からエクセルへの移行もできます。似たようなものに、SYLK形式がありますが、最近はあまり使われていないようです。正式には、Symbolic Link Format といいます。これは、カンマの代わりにタブを使って区切るため別名はタブ区切りといいます。

現在、私は、このCSV出力を使って旅費の集計をしています。CSVをダウンロードして、必要な項目を残して(不必要な列を削除して)利用しています。利用する列の項目は、支払日・旅行命令番号・支出等済額・旅行者・旅行日・用務です。この分をデータベースフィールドに貼り付けると月別・個人別の合計や予算差引をエクセルがしてくれます。もちろんデータベースを集計する計算式を入れなければなりません。データベースが出来ましたので、並び替えや検索を使えば必要なデータを処理加工ができます。エクセルからデータ交換のための形式を抜粋して以下に表記します。

Excel のファイル形式

ブック全体を保存するファイル形式	ファイル名の拡張子 (Windowsのみ)
Excel ブック (Excel 2002)	.XLS
Excel テンプレート (Excel 2002)	.XLT
Excel 作業状態ファイル (Excel 2002)	.XLW
Microsoft Excel 97-2002 および 5.0/95 ブック	.XLS
Microsoft Excel 5.0/95 ブック	.XLS
Excel 4.0 ブック	.XLW
(ワークシート、グラフ シート、およびマクロ シートだけを保存)	
HTML	.HTM
Web アーカイブ	.MHT
XML スプレッドシート	.XML
作業中のシートだけを保存するファイル形式	ファイル名の拡張子 (Windowsのみ)
Excel 4.0 のシート形式	.XJS、.XJC、.XJM
(Excel のマクロおよびインターナショナル マクロを含む)	
Excel 3.1 形式	.XJS、.XJC、.XJM
Excel 2.x 形式	.XJS、.XJC、.XJM

テキスト形式

ファイル形式	メモ
書式設定されたテキスト ファイル(スペース区切り) (*.prn)	スペース区切りの Lotus 1-2-3 のファイル形式で、 作業中のシートだけを保存します。
テキスト ファイル (Windows、タブ区切り) (*.txt)	他のオペレーティング システムで使用するためにタブまたはカンマで区切ったテキスト ファイル形式です。ブックを保存する場合、タブ文字、改行文字、およびその他の文字が正しく変換されるように適切なコンバータを選択します。
テキスト ファイル (Macintosh)	作業中のシートだけを保存します。
テキスト ファイル (OS/2 または MS-DOS)	
CSV 形式 (Windows、カンマ区切り) (*.csv)	
CSV 形式 (Macintosh)	
CSV 形式 (OS/2 または MS-DOS)	
DIF 形式 (データ交換形式) (*.dif)	作業中のシートだけを保存します。
SYLK 形式 (シンボリック リンク形式) (*.slk)	作業中のシートだけを保存します。

Lotus 1-2-3 のファイル形式

Lotus 1-2-3 のファイル形式	リリース番号	メモ
WK4 (*.wk4)	4	ブック全体を保存します。
WK3 (*.wk3)	R2.1J、2.2J、2.3J、 2.1JPlus	ワークシートとグラフ シートだけを保存します。
WK3、FM3 (*.wk3)		
WK1 (*.wk1)	R2.x	作業中のシートだけを保存します。
WK1、FMT (*.wk1)		
WK1、ALL (*.wk1)		
WJ1 (*.wj1)	R2J	作業中のシートだけを保存します。
WJ2 (*.wj2)	R2.1J、2.2J、2.3J、 2.1JPlus	この形式は、Excel で開くことができますが、保存はできません